

湯のまち通信

令和3年
2021年
7月
第183号



なる子ちゃん

【発行】鳴子温泉観光協会
宮城県大崎市鳴子温泉字湯元2-1
TEL:0229-83-3441 FAX:0229-83-2094
https://www.welcome-naruko.jp
公式 Instagram あいりす

令和3年6月24日
現在の情報により作成しております。
イベントや内容に変更がある場合もありますので、予めご了承下さい。

応援売りキャンペーン

鳴子温泉郷プレミアム宿泊券



好評販売中

6月1日から大崎市民先行、8日から全国販売が開始された「鳴子温泉郷プレミアム宿泊券」は売り切れる施設もあるほど好評をいただき、現在も販売しております。

1セット13,000円(1,300円×10枚)が10,000円で購入できます。購入方法は、お泊りしたい宿泊施設から直接宿泊券を購入し、その宿泊券は購入した宿泊施設でのみ使用することが出来ます。宿泊券は各施設販売分が無くなり次第終了となります。購入希望の方は、宿泊したい施設に直接お問合せ下さい。参加宿泊施設や各施設の販売状況は鳴子温泉郷観光協会のホームページをご確認下さい。

【料金】1セット13,000円

(1,300円×10枚)を10,000円で販売

【有効期限】

発行日が令和3年9月20日以前の

宿泊券は発行日から6ヶ月以内

発行日が令和3年9月21日以降の

宿泊券は令和4年3月20日まで

【購入方法】

ご希望の参加宿泊施設へ直接お問合せ下さい

【参加宿泊施設】

鳴子温泉郷観光協会ホームページ内

http://www.naruko.gr.jp

※売り切れている施設もございます。

※参加施設は新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底しています。お客様はマスク着用等のご協力をお願いします。



「東北のまつりラッピング車両」お出迎えの様子

東北DC推進セレモニー開催

6月5日(土)、「東北ディステイネーションキャンペーン(DC)」推進セレモニーが鳴子温泉駅にて開かれました。市内7地区のDC推進委員の方が参加され、土日運行中の「東北のまつりラッピング車両」に乗り鳴子温泉駅に集まりました。列車到着時には、当観光協会役員のほか地域の方やなる子ちゃんらが駅ホームでお出迎えを行いました。セレモニーでは大崎市長からのご挨拶や各地域イベント・取り組みが紹介されたり、水森かおりさんの動画メッセージの上映も行われました。日本中でワクチン接種が進み始めているので、残りのキャンペーン期間、集客に向けて推進し、感染症対策も引き続き行っています。

「快速湯けむり号」運行カレンダー

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

7月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

上り	下り
○印 全車指定席 (東北のまつり) ☆印 全車自由席 (一般車両) 鳴子温泉駅 9時07分 新庄駅 12時27分 新庄駅 15時00分 鳴子温泉駅 16時00分 仙台駅 17時40分	○印 全車指定席 (東北のまつり) ☆印 全車自由席 (一般車両) 鳴子温泉駅 9時07分 新庄駅 12時27分 新庄駅 15時00分 鳴子温泉駅 16時00分 仙台駅 17時40分

7月3・4日は新潟～酒田間を運行する特別列車「海里」が東北ディステイネーションキャンペーン企画団体専用臨時列車で鳴子温泉駅にやってきます。到着の際は駅ホームにてお出迎えを行います。ご協力いただける方は到着時間10分前まで観光案内所までお越し下さい。
7月3日 鳴子温泉駅着：15時55分、鳴子温泉駅発：16時03分
7月4日 鳴子温泉駅着：10時57分、鳴子温泉駅発：11時24分

駅出入口ショーウィンドウ 飾り付け

鳴子温泉駅の出入口にあるショーウィンドウに古川北町北一町内会「ラワーロード」の皆さまに七夕の飾り付けをしていただきました。四季に合わせた飾りになっておりますので、駅にお越しの際はぜひご覧ください。



駅出入口のショーウィンドウ

火の用心



駅・観光案内所消防訓練実施
6月4日に鳴子温泉駅と鳴子温泉観光案内所の合同消防訓練が行われました。当日は鳴子消防署3名の消防指導のもと、自衛消防隊長の鳴子温泉駅長を中心に、出火時の初期消火や駅構内の避難誘導の確認、消防署への通報訓練などを行いました。火災報知器の設備や消火器の取り扱い方法の確認も行っています。訓練は緊急時に慌てないために毎年2回実施していますが、お客様や地域の方の安全を第一に、まずは火を出さないことを心掛けてまいります。

鳴子温泉観光協会活動内容

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により世界的な未曾有の危機に直面し、鳴子温泉地域も経済的大打撃を受けました。イベント・集客が難しい中、感染症対策を行いながらお客様をおもてなしできるように事業内容を工夫し、感染症終息後に宣伝・集客ができるように熟慮した一年でした。

令和2年度大崎市補助金対象事業としては、◆「宣伝広告事業」にて公式ホームページの全面リニューアルを行い、会員店舗の個別ページを制作しタイムリーな情報を掲載することが可能になりました。また、鳴子温泉の温泉・自然・こけし等の魅力を分かりやすく発信できるホームページになり、最新情報を随時掲載するように努めました。◆「おもてなし対策事業」では、店舗に「コロナ対策実施中」の表示を掲示し各自ウィルス対策を行いながら、「鳴子温泉感謝祭スタンプラリー抽選会」を2回実施しました。また、小規模事業者団体販路拡大支援事業補助金を活用して「のぼり旗」を製作し、イベントの周知に使用しました。

鳴子温泉観光協会令和3・4年度役員

役 職	氏 名	屋 号
会 長	藤田 謹一	西多賀旅館
副会長	大沼 秀顯	大沼こけし店
副会長	遊佐 昭俊	マルマツ
常 務	大崎 進太郎	リブマートオオサキ
会計常務		
理 事	高橋 章夫	登良家旅館
〃	高橋 宣安	鳴子ホテル
〃	狩野 祐二郎	旅館すがわら
〃	大崎 隆光	扇屋
〃	遊佐 翔	東多賀の湯
〃	遊佐 博昭	まるよし
〃	宮本 武	玉子屋
〃	遠藤 孝虎	中央タクシー
〃	山田 史樹	そば処小花
〃	伊藤 京子	さくら家
〃	菅原 和平	こけしの菅原屋
〃	小嶋 源三	おじまや
〃	佐藤 匠太	うるしものヤマミチ舎
〃	遊佐 洋祐	ゆさや旅館
監 事	西條 純一	西條菓子舗
〃	八鍬 宏美	秋田屋

今回は、鳴子温泉旅館組合からの協力を得て、景品を例年より充実させお客様の再訪に繋がるようおもてなしを行いました。温泉街美化・装飾事業では花壇の整備を行ったり、冬季には鳴子まちづくり株式会社様のご協力のもと、ゆめぐり広場手湯に恒例となりました「イルミネーション」を設置し、冬場のフォトスポットとして温かな光を灯しました。JR特別列車のおもてなし事業では、リゾートみりの最終運行イベント・風つこストーリー号到着時のお出迎え・お見送りをしたり、ノベルティの配布も実施しました。また、令和3年度は役員改選が行われ新たなメンバーが加わりました。今年に入りワクチン接種が行われ、今後は旅行される方が増えてくるかと思えます。令和3年度も引き続きウィルス対策を行いながら、お客様の集客・イベントを計画し鳴子温泉の経済復興へ歩みを進められるよう、新たな役員と共に引き締めて活動していきたいと思えます。

(鳴子温泉観光協会事務局)

【しんとろの湯・湯の駅しんとろ メンテナンス休館】

令和3年7月12日(月)～7月16日(金)の間、メンテナンスの為、しんとろの湯・湯の駅しんとろを休館致します。ご迷惑をお掛け致しますが、何卒宜しくお願い致します。しんとろの湯 TEL:0229-87-1126

【日本こけし館 休館延長】

日本こけし館では6月末までの休館予定を変更し、延長して7月31日まで休館をいただくことになりました。お客様にはご迷惑をお掛け致しますが、何卒宜しくお願い致します。



《鳴子温泉郷についておさらい企画》第5弾



今回は鬼首(おにこうべ)温泉についてご紹介！鬼首温泉は鳴子温泉から15km程離れた山々に囲まれた温泉地です。

温泉旅館・ホテル以外にもスキー場やキャンプ場があり、禿岳をはじめ大自然を真近に感じられるところです。

近頃では「鬼」についての話題が多かったので、鳴子温泉郷の「鬼」について調べてみました！

【鬼首伝説】

その昔、東北地方には蝦夷(えみし)と呼ばれる人々が住んでおり、その人々を取り纏めていたのが首領アテルイと副将モレという人物でした。当時、大和朝廷は蝦夷の人々を平定するために征夷大将軍坂上田村麻呂の朝廷軍を蝦夷へと向かわせ、アテルイとモレの蝦夷連合軍との戦いが起こりました。結果、朝廷軍の勝利に終わりますが、アテルイの息子の太刀丸(おたけまる)は最後まで反抗しついに戦いに敗れ首を切られました。その場所が「鬼切り部の里(おにきりべのさと)」と呼ばれるようになり、これが「おにのこうべ」鬼首の語源となったと伝えられている説があります。アテルイもこれ以上両者の被害を広げないようにするため朝廷軍に降伏し、田村麻呂もその意を汲み都へ共に連れ帰った際には2人の処遇について助命を嘆願しますが、公卿達は謀反を恐れ反対しアテルイとモレは処刑されてしまいました。昔々、権力者に抵抗する者のことを鬼と呼んでいたそうですが、朝廷から見た場合は鬼でも、地元の人々からすれば英雄だった場合もあるそうです。都合の悪いものは「悪」に仕立て上げられ滅ぼされるという悲しい歴史の物語もいくつかあるそうです。

【鬼首の歴史】

鬼首は山深いところで古い歴史があります。平安時代(794年～1185年)、鬼首から水晶が産出し都より玉造り部(玉を作る職人集団)が移りすんで日本の三大玉造の里《出雲のメノウ、河内の玉砂、陸奥の水晶》といわれ朝廷に玉を献上していたところでした。前九年の役(ぜんくねんのえき1051年～1062年)では安倍貞任、宗任兄弟と源頼義、義家親子との激しい戦いが鬼切り部城で行われたり、「陸奥話記」によると後三年の役(ごさんねんのえき1083年～1087年)の後、平泉の藤原氏によって鬼首に温泉が開かれたとあります。片山にあった鬼首の温泉は片山千軒といわれ大変な賑わいを見せたそうです。

※参考文献 鳴子町史など